

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



**JF** 高松市北浜町8-25  
TEL 087-825-0350  
FAX 087-851-0699  
**JF香川漁連**

# 謹賀新年

## 香川県漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 服部 郁弘



年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会業務運営につきまして、格別のご協力を賜りありがとうございました。

さて、経済状況はやや持ち直しているようですが、円高が継続し先行きの不透明感が続く中で、

われわれ水産業界は、漁獲量の減少、就業者の減少や高齢化、後継者不足等の問題を抱え、さらに原油価格の高騰、TPP交渉等の関税撤廃の動きに見られる輸入水産物の増大により漁業の存続さえ危ぶまれるという状況となっております。

一方、国においては、来年度に向けて漁業における所得補償対策が検討されておりますが、税制改正における漁業用A重油の論議等我々漁業者にとって大きな問題となっております。

また、本県の漁業は、魚価の低迷・販売不振、ノリ養殖における色落ちの問題等依然として厳しい状況が続いています。

県漁連といたしましては、本県水産業が抱える諸問題を克服し、将来に向けて安定的に発展させるべく、養殖業・栽培漁業・資源管理型漁業の推進、新たな流通システムの構築等により、安全・安心な水産物を消費者に提供し、地産地消運動および子供たちに水産物のおいしさと栄養を学んでもらう食育を推進し、地域に根ざした活力ある香川型漁業を確立することが急務であると考えております。

また、漁業生産の源である豊かな海の環境保全について、県民あげての運動として取り組むとともに、

ライフジャケット着用推進による海難事故の防止や漁業と海洋性レクリエーションとの共存をめざす海面利用の適正化に取り組む必要があります。漁業基盤の強化を推進し、担い手の確保や都市住民との交流などに取り組み、うるおいとにぎわいのある漁業地域づくりを進めていくことも今後の重要な課題です。

漁協組織の再編整備につきましては、県内漁協の合併推進および経営改善指導に取り組めます。

昨年は、11月に県魚「ハマチ」指定15周年を迎え、さぬき海の幸販売促進事業を推進し、香川おさかな大使による県魚「ハマチ」やノリ・イリコの消費拡大キャンペーンを県内外及びシンガポールなどで実施し、消費者の皆様へ県産水産物のおいしさを知っていただきました。本年も引き続き、本県産水産物の消費拡大に取り組む所存です。

本年も、厳しい経営環境が予想されるなか、会員・所属員の経済的、社会的地位の一層の向上を目指して諸事業に取り組んで参る所存でありますので、会員各位をはじめ関係者諸賢におかれましては、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方の限りないご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。



## 香川県かん水養殖漁業協同組合

## 代表理事組合長 嶋野 勝路



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

我が国の経済は、ゆるやかな回復基調にあるものの円高等により景気の停滞感が強まっている。

顧みますと昨年のかん

水養殖業は、漁期当初から餌飼料の高騰やカンパチ種苗の高騰等、不安要素が多い中始まり、夏場の高水温による成育の遅れはありましたが、カンパチは在池不足から高値で推移して好結果が得られました。

主要魚種のハマチは、夏場は堅調な価格で推移しましたが、秋頃から天然のハマチが大量に市場に流れ販売不振の大きな要因となりました。

結果的に11月以降は安値となり年越しを余儀なくされましたが、マダイ・トラフグについては生産原価を確保されたものの、魚種によって悲喜こもごもの年であったと思います。

斯かる中、香川ブランドハマチは着実に生産され、販売面においても販路を拡大しつつあり、特にオーブハマチは10万尾を生産したところ、県内外から高評価が得られ本年度の増産に期待いたすものであります。

本年度も魚類養殖を取巻く環境は厳しいものと予測されますが、国においても資源管理・漁業所得補償対策として、共済制度の充実等、積立プラスの負担割合の軽減により漁家経営の安定に資するものと期待しており、多くの組合員に積極的に加入して頂き、不測の事態や販売価格の暴落等に備えられたい。

元より、養殖業本来の使命である安定生産・安定供給は言うまでもなく、販売計画に見合う計画生産の断行と遵守こそが唯一安定価格に繋がっていくものと確信しております。

今後も官民一体となり、県水産課並びに香川県漁連と連携を図り役職員一同、心を新たに本組合運営に取り組んで参る所存であります。組合員皆様には格別のご理解ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

## 香川県海苔養殖研究会

## 会長 森 朝征



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

朝鮮半島の不安定、円高、そして燃油もじわりと高騰の様子を見せ、あわただしい年始を迎えました。国内経済も一部の業界を除いては依然とし

て低迷状態を脱せず厳しい状況となっています。又、海苔業界も出足はまずまずではありますが、今後の漁次第ではどうなるか不安も一杯であります。

昨年漁期は、魚や鳥による食害、更には低栄養塩による早期からの色落ち等で、海苔養殖は不作の年となりました。

今漁期は、夏場の記録的な猛暑が影響し平年より水温が高かったことで海苔の生産は例年より遅れての開始となりましたが、育苗は、ほぼ順調に種網の育成が行なわれ、本張も全体では例年より少し遅れましたが早いところでは11月中旬から開始されました。

摘採は早いところでは11月末ごろから始まり、12月16日の初共販では、昨年より400万枚多い3,000万枚の海苔が出品されましたが、昨年同様食害等により年内生産量は思うように伸びませんでした。

栄養塩につきましては10月中旬から11月上旬までは非常に低い状態が続き、11月中旬からは徐々に増加しておりましたが12月中旬よりまた低下しており、既に色落ちが見られる所もあり、今後の降雨等による栄養塩の回復を期待するところであります。

本年も、各種イベントに参加して香川県産海苔の普及PR活動にも力を注ぎ、今後の消費拡大に役立てて行きたいと思っております。

最後になりましたが、皆様方のご健勝ご多幸と平成22年度漁期における海苔の豊作をご祈念申し上げますとともに、関係各位の尚一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

## 香川県無線漁業協同組合

### 代表理事組合長 服部 郁弘

新年明けましておめでとうございます。平成23年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当組合の事業運営につきまして、組合員を始め、関係官庁・関係団体の皆様には、多大なご協力とご支援を賜り誠に有難うございます。

本年も海難事故は頻発し、6月17日には、さぬき市馬ヶ鼻灯台東片約10kmで貨物船と衝突したケミカルタンカー敬和丸が沈没、8月1日には、坂出市番の洲にある三菱化学からの油流出事故、8月18日には、多度津町の佐柳島と小島の間に海上保安庁のヘリコプターが送電線にひっかかり墜落し、9月8日には、男木島西方で曳船かいらゅうが衝突により沈没する事故等がありました。漁業無線は操業の効率化と航行安全を確保する情報手段のみならず、海上における事故通報処理に大変大きく役立っており、一斉呼び出し等優れた機能を有しておりますので、十分にご活用いただきたいと思っております。

近年、複数のGPS衛星を利用することにより正確な位置情報を得ることと、自船の位置を発信することで安全を確保するための簡易型船舶自動識別装置(AIS)の開発が進んでおります。また、総務省では漁船間通信だけでなく、航行する船舶との共通通信の手段として国際VHFの制度を整備することにより導入を促進しているところです。このように、小型漁船救急支援連絡システムの開発普及とともに、操業の安全確保の気運は高まっているように思います。

本県の漁業環境は、組合員の高齢化・漁業後継者不足・漁場環境の悪化による漁獲量の減少に加え、魚価の低迷など大変厳しい状況に置かれています。

当組合におきましても、高齢化による組合員数の減少や携帯電話の普及に伴う無線利用者の減少が続く厳しい状況にあります。しかしながら、本県の重要な基幹漁業である漁船漁業の発展のため、漁業無線の円滑な運用に努め、地道に努力を続けていく所存でございますので、組合員各位をはじめ、関係官庁並びに関係団体からのご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のますますのご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

## 社団法人 香川県水産振興協会

### 会長 服部 郁弘

新年明けましておめでとうございます。

平成23年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年中は、本協会の業務推進につきまして、会員を始め関係者皆様には格別のご支援、ご指導を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、22年度の本協会事業は、漁船漁業の資源生産向上対策として、大型種苗放流事業を継続実施し、一部の魚種を除き健全な種苗をほぼ要望数量どおり放流することができました。放流効果実証事業では、DNA分析によるクルマエビ放流効果調査を21年度から継続しており、詳細な調査結果が明らかになるのは23年度以降となりますが、放流効果を科学的に実証できるものと期待しております。次に漁場環境保全対策としては、海面・海浜清掃事業等の支援、漁業操業安全対策としては、ライフジャケットの着用を推進するべく、県漁協女性部連合会によるライフガードレディースかがわ、県水産課、県漁連及び海上保安部等関係機関と協力し、県内で6回の着用推進講習会を開催し、着用推進用ライフジャケットを県内各漁協に配布しました。

また、資源生産の向上とともに、魚食普及・販売促進等の消費拡大事業が大きな課題となっております。昨年は、「さぬき海の幸販売促進協議会」に参画し、「県魚ハマチ指定15周年」、「首都圏水産物流通懇談会」等各種イベントに協力し、ハマチ・ノリ・イリコを中心とした県内水産物の販売促進に取り組みました。さらに、学校給食への食材活用等、地産地消・食育の推進にも努めました。

23年度も、引き続き本協会の中核的事業であります放流事業を始め、漁場環境保全対策事業、漁業操業安全対策事業、水産物消費拡大事業、他各事業の一層の充実化に努めて参りたいと思っております。また、「新公益法人制度」への対応につきましては、現在移行準備を進めているところであります。

本年度も本県水産業の振興に寄与する所存ですので、倍旧のご協力、ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

最後に、平成23年が輝かしい年となりますよう祈願し、併せて会員並びに関係者皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 全国漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 服部 郁弘

新年明けましておめでとうございます。

漁業者の皆様並びにJFグループの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、わが国漁業・JFグループにとり、様々な出来事のあった年でした。

2011年度は、JFグループが最重要政策に位置付けて要望してまいりました漁業経営安定対策として、資源管理に取り組む漁業者を対象に、漁業共済制度と積立ぶらすを抜本的に見直し・拡充した新たな収入安定制度が実現の運びとなりました。今後は、昨年4月から措置されている燃油等にかかる漁業経営セーフティネット構築事業とともに、この制度の普及・活用に向けて全力で取り組んでまいります。

また、昨年10月のTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加問題については、EPA基本方針策定に係る要望書を取りまとめ、11月の「全国漁連(県漁協)・信漁連会長、全国水産物輸入対策協議会合同会議」の決議に基づく政府・与野党に対する要請行動を行い、更には「TPP交渉への参加に反対し日本の食を守る緊急全国集会」において、食料の安定供給・確保についての明確な方針が示されない中で、例外なき自由化を強いるTPPへの参加等へ向けた協議が開始されることは、国境監視をはじめとする多面的機能、さらには、世界的な水産資源の管理にも重大な影響を与えることから、反対の意見表明を行ったところです。

世界的に貿易の自由化が進む懸念がある中、今後、関係各国との協議や農林漁業強化策など国内改革の方向性によっては、TPP参加に向けた議論の進展がさらに加速する懸念があることから、予断を許さない状況にあります。よって、引き続き情勢を注視するとともに、昨年11月に閣議決定した「包括的経済連携に関する基本方針」において、本年6月をめどとしている「食と農林漁業の再生推進本部」による基本方針の策定に向け、我々JFグループの立場をしっかりと主張し、強力な運動を進めてまいりたいと考えております。

また、新運動方針「JFグループ組織・経営・事業戦略」の2年度目となる今年度は、初年度に各県域で策定に取り組んだ、事業別将来ビジョン、県域ビジョンの実現に向けた具体的な取り組みのスタートとなります。新運動方針の4つの重点取組事項(①組織・事業再編と人づくり、②経営改革に向けた取

り組み、③事業改革に向けた取り組み、④協同組織の強み発揮と漁業・漁村への貢献)を実践に繋げ成果を挙げる必要があります。

JF全漁連といたしましては、自らの経営再建の前倒しでの達成を目指しつつ、山積する諸課題に立ち向かい、施策の実現に向け役職員一丸となって一層の努力を重ねてまいります。

この1年が、皆様方にとり良い年でありますよう、また、操業の安全と一層のご繁栄・ご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

## 乾ノリ初入札

平成22年度県内産養殖ノリ(乾海苔)の初入札会が、12月16日(木)高松市瀬戸内町の本会共販所において、40商社97名の参加を得て開催された。昨年同様に本張りが早い小豆島・直島地区を中心に県下16漁協より1回〜2回摘みのノリが出品され共販枚数は30,159千枚、金額3億1,096万円、平均単価は10.31円/枚であった。県下全地区で本格生産に入るが、今漁期の豊作を期待したい。



初入札の風景

### 主な行事予定 (1/1~1/31)

- 1月4日(火) 仕事始め
- 5日(水) 新年初市祈願祭(中央卸売市場)
- 7日(金) 第3回乾のり入札
- 18日(火) 第4回乾のり入札
- 27日(木) 第5回乾のり入札